

|       |  |
|-------|--|
| Echo  | No.180                                   |
| 令和8年  | 春彼岸号                                     |
| 羽村臨済会 | * 一 峰 院<br>* 禅 福 寺<br>* 禅 林 寺<br>* 宗 禅 寺 |

# 日本、スバラシ

日本に來日した外国人観光客が『日本にだけは行くな』

というタグを付けてSNSや動画サイトで発信しています。一見、日本の悪口を書いているように見えますが実はその反対で、一度日本を訪れると、その素晴らしさから母国に帰りたくなくなる、日本が恋しくてたまらなくなる、また日本に行きたくてどうしようもなくなる、という事を伝える為の表現なのです。彼らは日本を好きになった理由として次のような事柄を挙げています。

- ゴミ箱が少ないのにゴミが見当たらない町や道路がキレイで清潔
- 公衆トイレが無料でしかも清潔
- 食事が安くて美味しい、例えばお寿司は母国のものとは全く違う食べ物
- コンビニが便利、おにぎりやサンドウィッチのような安価な物でも美味しい安全に感じる
- 電車の中で誰もしゃべらなくて静か、お互いに敬意を払いあっている素敵
- 新幹線など、公共の乗り物が時刻表の通りに定刻で動いている

- 電車の乗り降りの際に割り込んだりせず、秩序がきちんと保たれている
- 治安が良くて夜でも女性が一人で出歩いて大丈夫、信じられない
- 人が皆親切でやさしい
- どのお店に行っても従業員が丁寧でプロに徹している おもてなし
- 自然が美しいし、建物と調和している
- どこへ行っても近くに神社やお寺があり、いつでも誰でも入れるし、行き届いた庭園が素晴らしい、落ち着く
- 文化が奥ゆかしくて素敵  
等を挙げて褒めてくれているのです。  
バブル崩壊後、失われた30年などと言われる日本ですが、それでも世界中の人があこがれる素敵な国だったので。私たちはこれを誇るべきだと思えますし、変わったり失ったりしないようになければいけないと思います。  
さあお彼岸です。日本の素敵な風習、文化です。お墓参りに出かけて御先祖さまに手を合わせましょう！（禅林 恭山）



く 禅語に学ぶく

仏様はどこにいる？

「泥仏不渡水、

神光照天地」

(泥仏水を渡らず、神光天地を照らす)

「泥仏」とは、文字の通り泥で作った  
仏様のことです。泥で作られているため、  
雨に降られたり水に入れたりしますと溶  
けだしてしまいます。

また、「泥仏不渡水」と同じ意味の言葉で、

「金仏不渡爐、木仏不渡火」

(金仏炉を渡らず、木仏火を渡らず)

があります。

これは、金で作られた仏様は炉に入れ  
ると溶けてしまい、木で作られた仏様は  
火に入れると燃えてしまう、ということ  
です。このように、どのようなものを使っ  
て仏様を形作ったとしても、何かしらの  
ことで必ず壊れてしまいます。

そして、「神光天地を照らす」の「神光」  
は、神秘的な光のことではなく、自分の  
心の中にある純粹な人間性のことです。

作られた仏像はいつか壊れてしまいま  
すが、全ての仏像が壊れてしまった時、  
はたして仏教は無くなってしまうので  
しょうか。実際のところ、そのようなこ  
とは決してありません。なぜなら、仏教  
にとって大切なものは、仏像のように形  
あるものだけではないからです。

形作られた仏様を拝むという行為は決  
して悪いことではなく、何より大切な  
は、それと同時に自分の心の中にある仏  
様も拝むことなのです。

つまり、真の仏様とは、「あなた自身  
の心の中に存在する」ということです。

また、上述したことから、「泥仏不渡  
水」は、姿や形にばかりこだわっている  
と、ものごとの本質を見失ってしまうこ  
とに気づかせてくれます。

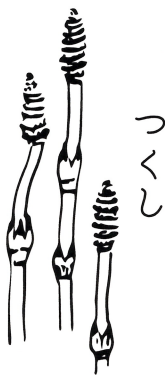
私たちの中にも、外見ばかりを気にし  
すぎる方がいらっしゃいます。外見ばか

りを気にしすぎるあまり、自分自身や他  
の人の本当の姿を見失ってはいませんか  
しょうか。

外見を良くするために努力したり、お  
金を使ったりすることは個人の自由では  
ございますが、それと同様に、自分自身  
の内面である心も磨くことをお忘れなき  
ようお願い申しあげます。

「泥仏不渡水」は、「本当に大切なもの  
は何か」と私たちに問いかけ、気づかせ  
てくれる言葉です。見えているところだ  
けではなく、その本質に目を向けること  
に意識してみましよう。

(禅福 尚玄)



# 禪と共に歩んだ先人

## 山岡鉄舟 XXIII

臨濟禪と接し、その精神性や美意識に感化される事により、自分自身を高め、偉大な功績を残した先人達を紹介するという趣旨で進めていこうというこの項ですが、前回に引き続き、幕末から明治にかけて活躍し、現代の日本のあり様にも影響を与えているといえる「山岡鉄舟」についてお話させていただきたいと思えます。

### 高野佐三郎 2

「昭和の剣聖」とも称される高野佐三郎の、その道の大成に貢献したといえる鉄舟は、どう高野と交わったのでしょうか。高野との試合に臨んだ岡田は、その不遜な態度に怒りを覚えました。

佐三郎は通常の試合と同様、竹刀で三四本打ち込みますが、岡田は決して「参った」とはいわず、それどころか、

先を特に削って鋭くした竹刀で、胴から喉笛まで裂くように突き上げられ、喉にひどい傷を負って、白袴が血に染まってしまういました。高野も必死で抵抗して打ち込みますが岡田はかまわず突き上げてきます。周囲の宥めもあつて引き分けてこの試合は終わりましたが、高野は敗北感と屈辱感にまみれたのです。

その日の内に雪辱を果たすまで帰らぬと書き置きを残し、出奔し東京に向かった高野は、旧知の道場を訪ね、東京で荒い猛烈な道場を教えてほしいと聞くと、「山岡さんです」という返事でした。

この時鉄舟は44歳で、大悟して無刀流を開く少し前になります。その頃の山岡道場は田舎から修行に来る先生で三月とないない激しい修行ぶりです。高野も屈強な先輩方に相当しごかれた様です。後に本人も「これは山岡道場一流のものであつた」と述懐しています。

二カ月も修行していると、普通ではない高野の頑張りに詮索する者もいました

が本人はとぼけていました。ある日鉄舟に昼食に誘われた際、二人きりになった所で「もう誰もおらぬ。一部始終を話してみよ、次第によつては力添えをする。」という優しい言葉に高野は涙をこぼしながら一切の経緯と雪辱せねば郷里に帰らぬという決意を告白したのでした。すると鉄舟は「その岡田とやらはもはや君の敵ではあるまい。早速行つて来い。」と送り出したのでした。岡田の道場に行くと、彼は先般の不調法を詫び、後悔している事を告げ、許しを乞うて来るのでした。

尚も試合を求める高野でしたが「あなたには到底及ばない」と断り続ける岡田に高野も気を削がれ、諦めて東京に戻り鉄舟に報告したところ「いや、それは当然だ。やれば岡田は生命はなかつたろう」といわれ、「まあそんなに腹を立てるな。もういいだろう」と宥められたという事です。高野が鉄舟道場で修行をしたのは三カ月という事ですが、大きな影響を与えたのでした。以下次号（一峰 義紹）

# 禪寺雜記帳

◆臨濟宗には私たちの建長寺をはじめ、全部で14の本山、派があります。国内の臨濟宗の寺院数は5846軒、このうち3453軒、約6割が妙心寺派のお寺になります。

◆妙心寺の開山は、関山慧玄かんざん えげんといひます。甲斐の武田信玄は禪を極めようと相当の修行をした武士で、師の岐秀元伯ぎしゅうげん ぼくからは機山信玄という号を与えられて、「自分は関山慧玄の生まれ変わりである」と称したという記録が残っています。信玄に限らず、戦国時代の武士の拠り所は、禪の教え、特に臨濟宗でした。

◆徳川家康は今川家の人質として幼少時代を過ごした際に静岡の臨濟寺で臨濟僧であり武士でもある太原雪齋たいげんせつさいから教育を受けています。この雪齋は妙心寺の35世にもなっている高僧で、今川義元の教

育係でもあり、義元は雪齋と共に京都、建仁寺や妙心寺で禪修行をしています。

◆徳川家康には閑室元估かんしつげんきつという臨濟僧がつき、関ヶ原の戦いではこの僧の占いによつて勝利を収めたという記録も残されています。金地院崇伝こんちいんすうでんという臨濟僧も家康を支えています。

◆織田信長、豊臣秀吉、北条早雲、伊達政宗など、誰もが知っている戦国武将には皆、臨濟僧のブレンがついています。自分が判断を誤れば領地も領民の命もどうなるかわからない緊張の日々を、禅僧の指導の下、坐禅をしながら腹を決めて政を行つたのです。

◆しかし江戸になって平和になるとその必要性が薄れてしまい、臨濟宗は衰退しました。これを立て直した白隠禪師は『臨濟宗中興の祖』と言われるのです。

◆日本には中国から24流の禪が伝わりました。3つは曹洞宗、1つは黄檗宗、残りの臨濟の20の流派のうちで現在まで残っているのは1つだけになります。

①大応国師②大灯国師③関山慧玄（これを応灯関といひます）から白隠禪師へと続く法系です。①の大応国師は建長寺の開山、蘭溪道隆らんけいどうりゅうに参じた後に中国で修行、帰国後建長寺13世となった僧です。②の大灯国師は建長寺で修行の後、大徳寺の開山に、③の関山慧玄も建長寺で出家しています。

建長寺が「日本禪の源流」なのです。

◆現在、大阪市立美術館にて、『妙心寺禪の継承』展が開催されています。大阪のみでの開催でハードルが高いですが、公式HPからは図録を購入出来ます。

（禅林 恭山）

